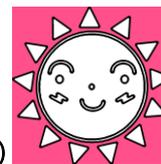


浜っ子

ジョン万スピリット～不撓不屈～

いつも笑顔で
元気です！



2016年7月5日(火)

No.6

土佐清水市立中浜小学校

夏の青空～1学期のまとめを～

連日の真夏日に梅雨明けも間近かもしれません。水分補給をこまめにして体調を崩さないよう心がけましょう。学校では、各教科1学期最後の単元に入っています。(もうすでに終わり復習している学年・教科もあります。)

毎日1時間は授業を参観し、子どもたちのがんばりを見させてもらっています。4月当初と比べると、15人みんなが、ぐっと成長し落ち着いて学習していることを実感します。一人一人が自分の得意・不得意を把握し、得意なことはもっと伸ばして、不得意な事からは逃げずに挑戦する姿勢も見られます。「自分のために学ぶ」「学ぶ権利が自分にはある」と、学びに対する食欲を持たせたいと思います。

今年の教育研究テーマは「自己を鍛え学び合う力を育てる」とし、道徳教育を研究の柱に据えて取り組んでいます。授業が教師の話中心で進むのではなく、「授業の主役は子ども」という意識を常にもち、子どもたちが生き生きと学ぶ姿が見られる授業づくり、友だち同士考えを深め合う授業づくりを目指しています。授業のTalk(話)は(教師：子ども)＝(3：7)という数値目標も設定し取り組んでいるところです。

今年は土佐清水市教育研究協力校に手を挙げ、教育研究所の職員の皆さんと一緒に、授業改善に取り組んでいます。すでに3つの授業研修会(道徳)を開催しました。先日は5・6年生の授業研究会でした。さすが上級生です。道徳資料を中心に自分の考えをしっかりと発表していました。

5・6年生に望む次の学習スキルは「友だちの考えと重ねて自分の考えを述べる」という聞き方・発表の仕方です。これは道徳の授業だけで培われるものではありません。全ての教育活動において、常に教師が「Talk＝3：7(教師：子ども)」の意識をもち授業を改善していくことが大事です。子どもが理解できていないのは指導技術・児童理解力のどこに課題があるのか追究する研究となるよう取り組んでいきます。

子ども同士の「対話」の生まれる授業を目指しています！

1時間の授業を分析し授業改善の方向性を話していきます。



道徳ノート「心のノート」を用意しました。発表チャンスがない時はこのノートに考えを書きます。

学校は一人一人の子どもが光る場所

15人の「浜っこ」1学期元気に登校してきました。地域での挨拶がちょっと弱いという課題もありますね。確かに学校に来客があっても、知らんふりの人も何人かいます。ご家庭と共に取り組んでいきたい課題です。

さて、学校生活では15人の個性が調和しながら、仲間と共に様々な課題に取り組んでいます。学校は一人一人の子どもが「学校が楽しい」「友だちと学ぶことが楽しい」と実感する場所でありたいです。



「楽しい気球」には、全校集会で友だちの良いところを見つけたカードを貼っています。1年間で15人みんなが15人の良さを発見する仕組みです。「友だちの良いところを見つけられる心」大切にします。



ろうかに1週間の新聞を並べています。『土佐清水市の記事を探そう』というミッションを開始しました！

新聞を読む人が増えています。5・6年生は新聞を並べる仕事も自主的にしています。

「共学び」の場面です。複式学級の強みは『子どもの主体性が育つこと』にあります。小中学校の教育で最も大切にしたい資質です。教師が的確に指示を出し、課題に応じた授業計画を練る必要があります。教師の授業力も問われます。



優れたノート掲示コーナー。もうすでに何冊もノートが終わった人もいます。友だちの良いところを真似ます。「学ぶ」＝「まねぶ」から始まります。



野菜の収穫表。
世話をしなくては実はありません。さて・・・



朝の会で元気よく歌う！

朝の会でスピーチをする。



『本博士になろう』今年度のスローガンです。チョモランマの標高と比較して読んだ本の総ページ数を記録しています。本は心の栄養！